

司会 田中 議会報告会実行委員会副委員長

1. 開会挨拶 尾崎 議長
2. 議員紹介 八子 議会報告会実行委員会委員長
3. 議会の説明 関野 議会運営委員会委員長

4. 議会報告（全体会）

◆決算議案の報告（予算決算常任委員会）

○平成28年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について

①予算決算常任委員会委員長

②決算に対する各会派討論（5会派）

○質疑応答

\*決算議案の報告に対しての質疑応答

参加者 支出の民生費の中で比率が高いものは？

議員 全体で153億円の内、児童手当等子どもが約66億円、高齢者が約61億円。

参加者 体育館のリニューアルで残念だったのは、音声の放送やトイレ、フラッシュベルについて。フラッシュベルは災害時用についているのか、何のためにしているのか、特にトイレの個室については残念。

議員 トイレの件については一部の議員からも意見があった。執行部からは、議論していく旨の答弁があった。

参加者 建物の件について聞きたいが、第2部ではどの委員会に行ったらいいのか。

議員 大きく3つの委員会がある。体育館については教育委員会となり、文教福祉になる。具体的な体育館の問題となると今回のテーマとしては適当なところはないかもしれない。近いのは、総務かもしれないので、よろしければ総務へお越しを。

参加者 資料の6ページ公債費について。今回でどのくらい返済したことになるのか。

議員 市債が約380億円の内、約23億円を今年度返済した。

5. 意見交換（3班体制で実施） ※会議録別紙

- ◆テーマ： 総務常任委員会 「公共施設のあり方について」  
文教福祉常任委員会 「学力向上について」  
建設環境常任委員会 「デマンド交通について」

※この記録は、意見交換会での発言をまとめたものです。

発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。

## 総務常任委員会「公共施設管理計画」

- 参加者A 今回の話は、ハード面でどの様にするのかというものだと思う。公共施設についてのソフト面について話がしたかった。公民館の利用、予約システムのあり方について聞きたいけど…公民館、キラリ☆ふじみ、コミセンをもっと使いやすく考えてほしい。
- 議 員 使う市民の立場から話を聞く必要がある。しかし、今日は、ハード面で意見交換をしたいと思い設定したのでお願いしたい。
- 参加者B 市民が使う時に縦割り行政ということでネックになっていないのか？建物は〇〇課、庭は〇〇課などメンテナンスや長寿命化させるためなどお金がかかるばかりなのではないか。縦割り行政が妨げにはならないのか？
- 議 員 公共施設の在り方を考える際に縦割りではなく横の連携をしていく必要がある。
- 参加者B 例えば、桜を植えようとする取り組みを行う〇〇課、木を切ろうと管理する〇〇課があるが無駄ではないか。立場が変わると無駄が多くなってくる。市民から見ても訳が分からない。市民は惑わされている。
- 参加者A 公園が隣にできる。しかし、施設の管理と公園の管理が別になって施設との関連性が全く取れていない。縦割り行政になっている。
- 参加者C 関沢に住んでいるが、関沢小の改修工事を3年計画で行っているが少子化という中で生徒数が少なる中で本当に工事が必要なのか。  
最近、イチヨウの木が大きくなっている用務員さんには出来ない状況。これから、管理は大変になる。考えてほしい。高齢者が使えるようにしてほしい。
- 議 員 公共施設維持管理は考えていかないといけない。関沢小は、昭和44年にできた。今後の使い方については考えていきたい。
- 参加者D 当事者の意見を聞かないで施設を作るところが多い。障害を持ったものは障がい福祉課に要望するが全く反映できていない。縦割り行政なので連携が取れていない。意見を出してもどの課に伝わって、どこの課が考えてくれているのかわからない。
- 議 員 市民のみなさんの声が担当課に伝わっていると思う。市役所全体で話し合う必要がある。情報は共有し議会からも要求している。まだ、不十分なのでしっかりと持ち帰りたい。
- 参加者C 東上線西側に公共施設が少ない。図書館がない針ヶ谷コミセンには簡易的な図書室しかない。これから西側の地域に公共施設を考えるべきではないか。
- 議 員 これから、公共施設をどうしていったらよいのか、考えることが必要。
- 参加者E 図書コーナーではダメ。図書館を作るべき。
- 参加者C 三芳町に本を借りに行く人が多い。
- 参加者D みずほ台コミセン近くに住んでいた。  
施設を建てる時にアンケートなどをとって建設時に役立てた。しかし、針ヶ谷コミセンは、出来たときのままで本は古いままです。パブリックコメントでは、施設が出来たときに行く。これでは施設に反映できない。地域の市民の声を生かすべき。視察に行った話を聞くと民間委託や公共施設が古くなったものを一括にしてしまうものではなく効率的な考えではなくしっかりと再検討するべき。ソフト面を大事に！
- 参加者E 関沢地域の道路が狭い。大きな建物が出来たがセットバックすべきと思うがそのまま道路が出来てしまった。なぜ、後退しなかったのか。
- 議 員 狭隘な道路が多い中、市民の声は多くある。
- 参加者E 建物を作る前に後退すべき

議 員 狭い道路は、中心後退の必要がある。しかし、中心から2.4mのお願いをするが基本的にはお願いに過ぎなく2メートルで当事者の考えで行う。指導は行っている。今後、確認をしたいと思う。

議 員 12名の参加で意見を聞きました。ありがとうございました。今後、市議会に意見を言っていただきたいと思います。以上

## 文教福祉常任委員会「学力向上について」

参加者 A 茨木市の全国学力テストの数値は。

議 員 出ていない。

参加者 B 数字を見るといつも疑問に思う。これで本当に子どものことがわかっているのか。自分は元教師。中学の数学の授業で掛け算の九九ができない子どもがいた。びっくりして、持っているクラスでどれぐらいの子ができないのか調べ、休み時間や休憩時間に教えた。授業でやっていたら全体のことできない。今の学校ではそんな時間ないのではないか。なぜそういう子どもがいるのか議員は把握しているのか。個々の教師での対応ではなく、全体の制度として目を向けるべきこと。今、退職して、毎日のようにマクドナルドで本を読んでいる。そこで高校生たちは人生や家庭の話をしている。学力向上を言う場合に家庭のことや福祉の観点からも考えないといけない。点数だけではいけない。質問ありますかと聞かれて何を質問したらいいのかわからない。指導する側は黙っているから質問がないと思ってしまう。子どもはそうやって置いていかれている。

議 員 今のご意見は、そもそも、今の学校に、学力向上の前に生徒をよく見るゆとりがないのではないかと懸念されているということか。茨木市だとどうだったか。サポート教員というのがいて、教育費にけるお金が、他市と比べて圧倒的に高い割合を、学校のサポートに対して使っているということだった。教員もICカードを使って出退勤を管理して残業がないようにきちんと子どもたちを見られるような時間をつくるとしていた。先ほど、子ども全体を見るということについてだが、意見交換その2で、茨木市に限らず…。

参加者 C この問題の解決は、40人以下学級。学級規模の縮小。義務標準定数法で40人と決められているが、クラスの人数はたまたま30人というところはあるが、法律では40人。アメリカやヨーロッパでは20人ぐらい。それが一番大事なこと。全国の少人数学級の状況をよく見てほしい。青森県では4年生まで33人学級で、中学1年生も33人学級。34人、35人、36人というのは富士見市であっても青森ではない。岩手県は4年生まで35人。中学校は35人以下学級。秋田は全て30人。山形も全て33人。福島も30人。茨城県は中3を除いて35人学級。栃木は33人。群馬県も4年生まで35人。埼玉県は国が決めて、標準定数法を変えないで、単年度ごとの政策処置としてやっているが、1年生は35人、小2までは一応やる、中1は38人学級。38人学級は全国で埼玉県だけ。38人はすごく微妙で、1人増えたり減ったりしたらすぐ学級数が変わってしまう。千葉も30人と35人。東京都は中1で35人。神奈川も新潟も35人。市議会として、義務標準定数法の改正を求める意見書を出してほしい。県に対しても、国や県がやってくれないなら市としてやってほしい。志木市の1、2年生は25人程度学級。蕨市も3年生から6年生まで35人学級。和光市も3、4年生は35人学級。北本市も1年生は30人。上尾市も30人程度。川越市は5年生と

中学2年生は35人程度。越生も3年生から6年生までは35人学級。東松山市も35人学級。サポーターや支援員ではなく、学級編制を考えるべき。それ以外でも、滑川、桶川、鳩山、行田。子どものためにお金を使うべき。国に意見書を出してほしい。県にも出してほしい。志木でできてなぜ富士見でできないのか。聞いたところでは、かなり効果が上がっていると聞いている。議員も調査してほしい。

議員 今のお話は、学力向上のための自治体の取り組みとして、学級規模の縮小が有効だと考えていて、学級規模の縮小は国の法律だと。国の法律のために、国や県に法改正のための意見書を出してほしいということだ…。

参加者C それと、独自にやってもらいたい。志木市は独自にやっているのだから。  
議員 志木市の学力向上と、人数の編制が、人数を少なくすると学力が向上したということでしたが、他の自治体でも、学級の人数を少なくするとその分学力が向上していく…。

参加者C それは当たり前。40人と25人じゃ、1人ひとりに届く。

議員 茨木市だとどうだったか。

参加者C 茨木市はサポーター、サポーターというが…

議員 (少人数学級は) 特別やっていない。人を配置する方にお金をかけている。

議員 茨木市では、児童の心理的な面もサポートするような、サポーターを配置している。

参加者C ちなみに大阪府は最も遅れていて、中学は全部40人学級。

議員 他に、茨木市のことでもっとということがあれば…。

参加者C 先日新聞を読んでいたら、教員の長時間労働について、校長がリーダーシップをもって運営している学校は長時間労働で、ボトムアップでみんな話合ってる学校は長時間労働でないという記事が載っていた。そうだろうなと思った。なんとかプランなんとかプランと言われたら現場は大変。残業が増えるのは当たり前。上から下ろされて来てあれやれこれやれでは本当にみんな過労自殺する寸前。

議員 学力向上は、現場の教員の負担になる恐れがあるので、あまりボトムアップでやるべきではないと…。

議員 プランというものを提示されると、要は上からこういうものを提示されるということだ…。

参加者C なんとかプランなんとかプランで…

議員 みんなで話し合ってるというのではなく上からドーンとくるから…。

参加者B 私たちの経験では、上からきたものっていうのは、現場の意見が反映されていないことが多い。上からやれって言われると、片づけるためにつじつま合わせで資料を作ったりする。子どもに全然反映されないところに労力が使われる。下から上がってきたのだったら子どもの実態を踏まえたものでいいんだけど、私の経験では上からきたものではそういうことが往々にしてあるから時間の無駄。費用の無駄。子どもの役に立たないことが結構ある。

議員 報告のための活動みたいな…。物はできましたよと言って、じゃあわかりました、それから先に進まないって言う。

参加者B 現場は何も言えないから仕方なくやるしかない。

議員 先生の実情を聞くとやっぱり、本当に子どもたちにもっと時間を使いたいんだけど、色んな書類だとか報告だとかクラブ活動もある。本当に本人が疲れて、逆に言うと授業時間が自分の休み時間になってしまう。今日は、自習にしますという実情もあるということも聞いた。先生をやっていた方の声を聞くと、私たちも生徒の時にどれだけ迷惑かけたのか。

議員 茨木では私も、市の担当の方に質問したが、教育委員会から下りてきた段階

で、最初の現場の先生の印象としては、またきたか、これ以上大変なんじゃないかということはお話されていた。そこで、すりあわせや丁寧な説明の上でその取り組みを何年かかけていくなかで、さっき茨城の数字はないということだったが、ネットで見ると、数字になってしまいうけれども、一応結果を出してきた部分は見えるので、もちろん現場の先生の努力によって子どもたちも自信をもって成績を上げていった結果はちょっと見えた。そこでの教育委員会の形をみんながイメージを共有できて、子どもたちが結果を出すことによって成り立ったということだった。

参加者 D 話を聞いていると、生徒数を減らせば学力が向上するという結論になりそうだが本当にそうなのか。40人が35人30人になれば子どもたちの学力が向上して、平均点数が上がるという結論になりそうなので、そうなのかと聞いている。昔は53人だった。先生たちが大変だというのは今も当時も大変だ。ここにある業務サポーター、先生たちがしなければいけないこと、生徒に教えることと、中学の先生だと部活も見なければいけないとか、そういうところで、人数を減らせば学力が向上するというものならいいが、それでもできない子は出てくる。そういう子をサポートすることが大切だ。ついてこられない子どもを拾い上げていけば全体の学力は上がっていく。そのために市議会、県議会、国会議員が、どういう風なことができるかを決めていただきたい。学力の向上は人数が少ないからできるというものではないと思う。うちの子どもの時代の時代も人数は少なくはなかった。私の子どもは私学に中学から入ったが、ちゃんと上の学校にも行っている。人数が多いとか少ないとかではない。もっと違うアプローチの仕方がある。

議 員 今のご意見は、学力向上＝クラス規模の縮小になるかどうかは検証が必要で、大事なのはできない子、ついていけない子に対してサポートをしっかりと提案してやっていくことが大事であるということ。

議 員 他に発言していない方どうぞ。

参加者 E 平均点を上げることが目的なのか、それとも得意科目を伸ばすことが目的なのかかわからない。苦手な科目があっても得意科目が伸びればそれでいい。この数値だと、全教科平均を上げなくてはならないので、個性がなくなってしまうのではないかと心配だ。

議 員 ご意見としては、学力向上の目的と言った時に、視察の資料とか市議会に教育委員会から出している資料だと、国語何点、算数何点という、目的が全部を底上げしてくことになっていて、本来だったら子どもにとって幸せなのは得意な科目を伸ばすことが一番幸せということか。

参加者 B もっと詰めた議論をした方がいい。サポーターにしてもどっちにしても人を増やすということ。人数を少なくすることはクラスを半分にする。先生も2人いる。サポーターをつけるのと人数的には変わらない。予算がどうかは別にして。サポーターもいいところがあるのかもしれない。もっと聞きたいと思う。ただ、自分の経験では数学でサポーターを配置するのでは無理だ。小さければ小さいほどその子に合ったことをやらないと無理。昨日やったことをわかっていないと他の人が教えても無理。サポーター制度がどう生かされるのかかわからないが、数学については教員を増やした方がいいと思う。サポーターのことがわからないから言っている。サポーターがどんなことをやっているか説明されればいいのかもわからない。個性のことで言えば、子どもの興味関心は将来変わる。その時に基礎学力がないと希望を叶えることはできない。ある程度の基礎がないと将来を決められない。ある程度のことを教えるのが大人の責任。小学校の全教科について、小学校レベルのことを教えきらないで、あとは本人任せというのは大人の責任。

議 員 ご意見としては大きく3つ、数学の場合はサポーターよりも教員増がより有効なのではないか。サポーター制度についてもっと説明が必要だから時間が足りない、個性の話については、違うことをやりたいときにできる能力を担保するためある程度の基礎学力をつける必要がある。  
先ほどの方の話だと、基礎学力をつける必要があるけれども、学力向上のために指標の一つと…。

参加者 F 1、2年生の授業一番が大事。自分は数学と運動がすごく好きだった。得意があれば他のことはダメでもみんなと仲良くできる。自分の得意があったらいい。

議 員 義務教育は基礎を、ところが最近では競争しあって小学校のうちに中学校、高校の勉強をできる子は飛び級して、置いて行かれる人はどんどん置いていられるし、私なんか運動は得意で、体育の時になると人一倍で数学になると…得意が一つでもあると学校の中でヒーローになったり、自分もこれに挑戦してみようという気にもなる。最近では全体的にいい子を増やすかもしれないけど落ちこぼれを増やしている可能性もある。茨木行った時には、低位層の所をある程度力入れている。私の時はできる子ができない子を教えてくれた。最近では教えちゃうと受験戦争に追い抜かれちゃうから教えないという時期もあった。

参加者 B そのことも子どもにはわかっていない。教えることも自分にはプラスだということわかっていない。

議 員 教えるということは自分も勉強する。そういうことをやりながらできる子はまた伸びていったというのがこの茨木市に視察に行っただけやっていると上の子が、逆に下がっていくのではないかと懸念があったが、それ聞いたら逆に伸びましたと。下も伸びたら上も伸びたと。さっき大阪全体で見るとあまり芳しくない。ここだけが突出してよかった。だから全国から来ているのかもしれないが、それぞれの子どもたちの性格なり自治体の取り組み、40人、30人どれがいいんだ、また色々結果で数字は出てくるが、数字だけを見ていくと極端すぎるのかなと思う。でもやっぱり全体的に見て学力テストで評価してそれでいいのか、それで競争になって、小学校のうちからある程度、自分は鉄道だったから電車の運転士になりたいと言えば電気の勉強しようとか、そっちにグーッといく。パイロットのなりたいと言えば、航空力学とかすごい。夢はなんだろうかを追い詰めていくと、自分の教科が伸びていくということもあるかもしれない。自分自身の経験だとあった。

参加者 C 少人数学級はずっと文部科学省と議論してきた。少人数学級に対して文科省は少人数指導を言う。志木市が少人数学級をしようとしたときにも、国でストップがかかって、認めないと言う。国が40人と決めているのに25人は認めないと。一つのクラスを二人でやるなら認めると言う。(当時の)市長がクラスに2人の教師がいてはダメだとして反対した。国の罰則があってもやるとして文科省が認めない中で行われた。一つのクラスを二人でもつのがいいのか、分割して25人程度学級にすればいいのか、根が深い問題である。以前PTA 聯合会の会長と話したこともあるけれども、以前は50人60人いたことから教員の質が問題にされていたこともあったがそれでは進まない。研修を強化して教員の質を上げれば学習効果が上がるという考え方が市民の中に大勢いる。だから富士見市では進まない。埼玉県でも進んでいない。志木市は突出してしまった。県内でも増えている。議員は質問したり意見書を出したりしてほしい。少人数学級について議論を深めてもらいたい。

## 建設環境常任委員会「デマンド交通について」

参加者地域内訳 上沢 3名 鶴瀬西 2名 渡戸 1名 関沢 2名 三芳 1名

◇視察・当市の報告に対する質問

参加者 デマンド料金の市としての支払い分は？

議員 全体の料金から個人負担を引いた額（半額）

参加者 帰りも利用できるのか？

議員 当日・前日の予約が必要

参加者 普段より料金が高く感じた。迎車代がかかることを周知していない。チラシやお知らせに迎車料金がかかることを記載した方がいい

参加者 登録をしておけばタクシー利用時に半額の補助があるのか

議員 登録・予約した場合のみで乗車場も通常のタクシーとは異なる

◇意見交換『富士見市に求める地域公共交通のあり方について』参加者の意見

参加者 上沢地区がコミュニティバスもライフバスも少ない。デマンドタクシーもよい試みだと思うが、現在のバスの本数を増やすなどの対策も考えてほしい

参加者 特に17時頃の予約電話がつながりにくい

参加者 デマンドの終了時間が早すぎる。17時半以降も実施してほしい

参加者 デマンド交通は現在全年齢対象だが、若い人まで利用できるのは市の負担が増えていくと思うので制限を考えてほしい

参加者 階段の上り下りが辛くバスに乗れないのでデマンドタクシーは助かっている

参加者 鶴瀬西から出発するバスがほしい

参加者 三芳町のデマンド交通がなくなってしまったので富士見市には是非継続してほしい

参加者 富士見市の現状のデマンド台数は？

議員 4社台数制限なし

参加者 体の悪い方などがいるので、年齢で区切るのではなく、対象をうまく制限してほしい

参加者 関沢地区はコミュニティバスを利用する場合に駅まで行く必要がある

参加者 デマンドには専用電話番号があるということを周知してほしい

参加者 まずは体験してみたい

参加者 デマンド交通登録カードがあるといい。またそれを提示することで予約なしでも利用ができるようにしてほしい ※携帯電話がないと出先で利用ができない

参加者 三芳郵便局（本局）を乗降場所に追加してほしい

参加者 富士見市の全体的な交通環境を見直す必要がある。バスも路線や時間帯によっては利用者が少ない

## 6. 意見交換の報告 各常任委員会委員長

## 7. 議会全体に対する質疑応答

### \*質疑内容

参加者 市・県は40人だが、志木市では25人とし学級規模の縮小が進んでいる。県・国に対して、法改正をして35人学級となるよう意見書を提出してもらいたい。国が駄目なら県で。県も駄目なら、市費で1学級の人数縮小を。

議 員 （司会：田中副実行委員長）貴重なご意見として伺う。

参加者 陳情に対して、議員は研究が足りない。執行部は嘘を言っている。議員はもっと研究をすべき。

議 員 貴重なご意見として伺う。

8. 閉会挨拶 篠田 副議長

司会 田中 議会報告会実行委員会副委員長

1. 開会挨拶 尾崎 議長
2. 議員紹介 八子 議会報告会実行委員会委員長
3. 議会の説明 関野 議会運営委員会委員長

4. 議会報告（全体会）

◆決算議案の報告（予算決算常任委員会）

○平成28年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について

①予算決算常任委員会委員長

②決算に対する各会派討論（5会派）

○質疑応答

\*決算議案の報告に対しての質疑応答

- 参加者 ふるさと納税が本市に関してはプラスであったのか？マイナスであったのか？マイナスだった場合は、今後こういった対策が考えられるのか？
- 議員 富士見市においてはまちづくり寄付金という形でプラスになっている。
- 参加者 草の根の報告の中で、随意契約について触れられていたが、随意契約をしてもよいという可否の判断はどのようにされるのか？
- 議員 工事の製造の請負に関しては130万円以下、物件の借入は40万円以下など金額が決まっていることがひとつ。もうひとつは、情報システム関係など、その業者にしかできない場合、随意契約ができるという判断になる。
- 参加者 いくつかの会派の中で決算の討論のなかで、「－を求めて認定」「－を要望して認定」という表現があるが、今後、どのように反映するのかについて教えて頂きたい。
- 議員 草の根としては、予算編成の際に、指摘した内容が予算編成に活かされているのかチェックしたうえで3月議会にのぞむ。指摘通りになっていないのであれば、説明を求める。
- 議員 21未来クラブとしては、経過について具体的な形が出てこなければ一般質問で意見を述べる。
- 議員 公明党も同じように、一般質問で意見を述べる。次の段階をしっかりとチェックしていく。単純に認定するという事ではない。
- 議員 市民の絆としては、更に補てんしていくという意味で使っている。一般質問でも取り上げていく。
- 参加者 市民の絆は子どもの貧困についての取り組みのなかで、学校給食の無償化や18歳までの医療費無償化を上げている。財源はあるのか。
- 議員 滑川町では学校給食を完全無償化している。相当費用はかかっているようだ。しかし、滑川町では、完全無償化することによって住民が増え結果的に「消滅都市」であったものがなくなった。  
ご指摘の通り、財源は厳しい面があるが、福祉的な意味合いも含めて取り入れるべきだと考える。プラス思考で考えていくべき。

- 参加者 一般会計の支出のところで、職員一人当たりの給与の額は？それは妥当なのか？
- 議員 47億3375万円ある。ラスパイレス指数からみると高くない。人事院勧告に基づいて変えているので、妥当でないということはない。
- 参加者 滞納に関して。市民税や固定資産税など市の財政に関係ある滞納金はどのくらいあるのか。時効があると思うが、一年にどのくらいずつ回収できているのか。
- 議員 個人の市民税についていうと、滞納の額は28年度で4億円ある。そのうち回収できなかった額、不能欠損は1億円ある。
- 参加者 西みずほ台の駅前地区は禁煙区間に指定されているが、武蔵野銀行のところまで。それから三芳町のまで禁煙区間ではなくなっている。路上喫煙禁止区間を広げてほしい。
- 議員 貴重なご意見として承る。
- 参加者 過去3年の議員提案の条例はどのくらいあるのか。共産党の反対の事案も、議員提案の条例で捕捉できるのではないかな？
- 議員 議員提案の条例で制定されたものはない。それぞれの会派としては、しっかりと後を追いながら、予算の執行状況を含め、取り組んでいる。修正案は出しているが条例にはなっていない。

#### 5. 意見交換（3班体制で実施） ※会議録別紙

- ◆テーマ： 総務常任委員会 「公共施設のあり方について」  
 文教福祉常任委員会 「学力向上について」  
 建設環境常任委員会 「デマンド交通について」

※この記録は、意見交換会での発言をまとめたものです。  
 発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。

#### 総務常任委員会「公共施設管理計画」

- 議員 意見交換会は質疑応答ではなく、皆様の意見を議会に提言できるようにと考えています。
- 参加者A 富士見市の公共施設は、どれぐらいの資産価値があるのか。結構あるように思う。
- 参加者B 学校から自転車置き場など公共施設の幅に驚いている。市がどのようなビジョンを持ってまとめるのか。ここの市民からの希望だけではできないのではないかな？大きな方向性をしっかりと打ち出したほうがいい。
- 参加者A 公共施設には補助金が出ている。
- 参加者C 公民館は教育委員会。交流センターは自治振興部。建てる時の補助金の出所で管理部署が決まっていると聞く。わかりやすくできないか。管理運営の一元化できないか。
- 参加者D どのようにうまく管理するのかを考えて欲しい。グラウンドについて言いたい。河川敷のグラウンドは場所にはいいと思う。最初は何もなかったが、ネットを入れたりして良くなった。ただ、維持費の面から中央の柵はいらない。使いやすさからしたら、外野にネットを作りたい。そうしたところからも適切にお金を使って欲しい。第2グラウンドの間に田んぼが2枚あるので今のうちに購入して将来に備えて欲しい。先を見越しての動きをすることで、予算が生きるのではないかな。

- 参加者C びん沼や針ヶ谷も管理委託している箇所は、どれだけの管理費(指定管理料)を払っているのか。利用料金を免除されている団体が多い施設は黒字にならないのではない事は当たり前である。
- 議 員 主要な施策報告書を確認しますと、針ヶ谷コミュニティセンターは指定管理料 2135 万 3000 円です。
- 参加者B 人口の減少など、将来を見据えて計画を考えて欲しい。集会所など様々ある中で、利用状況などを見て必要なものは必要、そうでないものと精査した方が良い。将来的に人口減や税収減など、真剣に考えるべきだ。将来的には近隣市町との合併もあるかもしれない。そんな時を迎える事も入れた上で、施設の重複などを考えるべきではないか。他市に比較して、富士見市は施設が多いのかなどや、市内の地域的なバランスも考えて計画を立てて欲しいということ、本日の議論を聞いて思った。
- 参加者A それについては異論がある。先程の意見は理想的ではあるが、私の経験から言って(意見を聞く対象を)市民に近くなればなるほど、「この施設いらない」という意見は出てこない。3つの施設を1つにするという事は、よっぽどうまく説明しないとできない。
- 参加者E 理想論であってもやるべきことはやらなければならない。理想論だからやらないという事があってはいけないのではないか。
- 参加者A 理想論だからやらないという事ではなく、やるのであれば他の地域も含めて再編を考えないとうまくいかない。やるからにはしっかりとした計画を持って説明すべきである。
- 参加者C いざ実行するときになったら、必ず地域のエゴは出ると思う。大局的な立場に立って意見をいう事は難しい。皆さんが非常に苦労すると思う。やるのであれば、1つだけではなく、広い地域を巻き込んでやらなくてはならない。
- 議 員 今回、上越市、中野市に視察に行きましたが、今、皆さんが話しておられた住民への説明の部分が一番難しいという事でした。
- 参加者A 上越市に住んでいたから分かるが、富士見市と、地勢などに大きな違いがある。あまりに多く合併したのだからうまくいかないことも多いと聞いている。
- 参加者E 1箇所だけやると問題があるからいくつかを一緒に、そして説得力のある計画がないとうまくいかない。
- 参加者C 話は変わるが、青年の家はどうなっているのか。県議、市長が頑張ってくれて、解体は埼玉県が行ってくれるが、何時ごろ利用できるようになるのか。
- 議 員 南畑地域の人と意見交換はしているが、議会に、決定事項として知らされてはいないのが現状です。議論の内容はHPなどで確認はしています。南畑地域だけではなく、富士見市全体を考えて青年の家をどうすべきかと考えて行く必要があると思います。また、日本全国人口減少を踏まえて議論されていますが、削減、統廃合ありきで考えているのではなく、皆さんと意見交換しながら考えていきたいと思っています。話がずれてしまいましたが、南畑地域では意見交換が進んでいます。
- 参加者A 公民館は1階建てが多い。容積率の問題があるが、2階建てなどを考えるべきではないか。
- 参加者F 複合施設にしていかないといけないのではないかと。統合するけれども子ども施設や給食施設をいれるなど。複合的なモデルをしていけば分かりやすいのではないかと。
- 参加者A 上越市などと違って、車がないと公共施設に行けない地域ではない。自転車などでも移動できる地域なのだから特性を考えるべきではないか。
- 参加者D 荒川のスーパー堤防ができないと災害の危険性がある。公共施設を増やすこ

とはできないが、バスなど公共交通などを使って使いやすくする工夫も視野に入れるべきだと思う。

参加者E 今回の意見交換会の進め方について一言伝えたい。公共施設を話し合うのであれば、たたき台を出してそれを元に話し合わないと、意見が広範囲に広がってしまう。今後の意見交換に活かして欲しい。

参加者A この資料の中にある施設点検マニュアルを元に話し合ってはどうか。

参加者E そうですね。そういったものがあれば話しやすい。

議員 今回の意見交換については、ご指摘の通りたたき台の様なものがあれば話しやすいのかもしれませんが、しかし、まだ計画の前段階なので、今回はまず一歩として普段、市民の皆さんが公共施設に思っている事、感じている事を議員として意見を聞きたかったことはご理解ください。

参加者E そうした意味なら理解できる。

参加者F キラリはもうすぐ15年になるが、光熱費は市から出ているが、事業費をどうするかだ。使用料を元手に事業を運営しているが、内容をより良くするためには、これでは足りない。中身を充実させようと考えたら、市の事業費の予算をもっと出さないといけないのではないか。岐阜県可児市は同じ規模の市だが、1億円以上の事業費を入れて充実されている。せっかくの施設を活かすために文化芸術を子供達のために活かすべき。演劇とコンサートをやるにはもっと良い環境を整えないといけない。

参加者C 利用する方は舞台の費用や、マイク1本にもお金がかかって苦労している。あと残り5分程度なので、まだ意見を伺っていない方からお願いします。

参加者G 公共施設のイメージと言えば、公民館でしょうか。私は今まで公民館を利用してきたのだが、使用していると上の世代の方と熱量の違いがあり、驚く。私たちは教育施設とは感じていないので何も考えずに使用していいのか。

参加者A そう言ったことを考えないで使用していいのではないか。

参加者G 一緒に何かをしたいと感じても温度差があって近寄り難く感じることもある。

議員 お時間になりましたので、本日は貴重なご意見ありがとうございました。

## 文教福祉常任委員会「学力向上について」

参加者A 教育について、市議会としてどのように取り組むのか。今日の話し合いをどう反映するのか。

議員 本日は意見交換会も含めているので、市議会議員は市民の意見を聞いて執行部、教育委員会に投げかけていくという役割。みなさんからの色々な意見を聞いて、議会全体でというのはなかなかできないけれども、個人的に質問や提言をすることはできる。全てがイエス・ノーではないと思う。報告書は出す。委員会として提言をまとめるところまではしていない。

参加者A 要するに議員個人として、教育委員会に働きかけるだけということか。議会として、教育はこうあるべきとか、こうなさいとか、議決して教育委員会に上げることはないのか。

議員 そこまでではない。

参加者B この視察の中で、茨木市では中学校区をブロックとして連携し取り組みがされたとのことだが、願望的な要素もあるが、別分野だが、地域包括ケアシステムでは30分いないにサービスが受けられるようにしてほしいとされているが、その根拠が中学校区。行政の違う立場でも、中学校区の大事さがあると思う。自分が所属している青少年育成市民会議は、支部が4つで中学

- 校6校あるが、鶴瀬西支部は西中学校は支部が二つにまたがっている。富士見台中もまたがっている。これでは中学校区の連携が取れないと思う。以前青少年育成会議でも総会の場で言ったが議論が進まなかったり、その前に関沢小学校は小学校の中で唯一支部がわかっていたような状態。議会で議員が言ってくれて、自分も総会で発言して、小学校区はようやく何とかなった。今まで具体的に先進的な取り組みとしてブロックの連携という大事さが強調されている以上、働きかけを議会の方からも言ってもらえるとやりやすい。
- 議員 茨木市のような中学校ブロックで分けること、これは、地域包括ケアの根拠にもなっていて、現在青少年育成市民会議のブロックが、中学校ブロックに分けていくべきだけど、関沢小が…
- 参加者 B 関沢だけでなく…
- 参加者 C 民生委員も市内6ブロックに分かれている。市民会議と区割りが一致していない。南畑は問題ないかもしれないが支障が出てきている。改善していかないと何の時はこっち、何の時はこっちと右往左往させられているのが実態。そこをまず解決してもらえないと難しい。
- 参加者 A 連携は、各学校のPTAとか協力してやっていないのか。
- 参加者 B そこはそこでやっているが、青少年市民会議というのもあるが、ふじみ野小学校はPTA 連合会に加盟していないというのもあり、全体的に共有がはかりづらい。市民会議の例で言うと、学校長によってはこっちの支部に出たりこっちの支部に出たり学区がまたがっているとそういう対応もしている。
- 参加者 A 上から指示がほしいということか。
- 参加者 C それを統一して示してもらうにはどこがやってくれるのかわからないが、そういったことがないとやりにくい。
- 議員 自分は鶴瀬小学校だが、正門を出ると、諏訪小学校区。道路一步出ると。学校中心として円で包まれるような形、それぞれの町会の今まで培ったものもあるからという話もあるとなかなか進まない。その辺変えていかなくてはいけないのかもしれない。
- 参加者 D 地域の連携を考えると教育や福祉や防災を中学校区単位にしたほうがいいんじゃないかと。
- 議員 中学校区単位で地域のブロック分け、現状だと、中学校区単位になっていないので共有がはかりづらい、教育委員会がブロック分けの明示をしてもらうことによって、学力向上ができる。
- 参加者 B エリア分けするにしても全体の連携がはかられていないため浸透していかない。そこから見直しをして福祉、教育の連携がはかれる土台作りをぜひやってほしい。中学校区で連携してというのが視察の結果で書いてあったので、言っているが昔のしがらみで進んでいかない。
- 議員 茨木市も実際は、すべてがきれいに分かれているわけではない。小学校に人数割りがあるので、一つの小学校が三つの中学校に分かれてしまうこともある。ある程度の枠を決めて、全てやるのは厳しい。参考意見として伺う。
- 参加者 B それこそ、水谷支部の方に針ヶ谷地区、西みずほ台2丁目、針ヶ谷1丁目・2丁目があるが線路を越えてむこうの支部に行っている。生活圈を考えると線路はやっぱり大きい。子どもたちは学校としては西中に通ってくる。それが大人の活動になると、線路を越えて向こうにいかなくてはいけない。ネックだと思う。針ヶ谷地区の町会長からもそうした話は出ている。前々から訴えている。
- 議員 鶴瀬の東、西だって…
- 参加者 D 別の議論を。教育振興計画の見直しが行われているが、議事録を見ても、学力についての話がない。しかし全国平均を下回っている埼玉県よりも下であ

る。第一次計画で、どのような成果が出て、その評価、課題、その解決のためにどのようなことをしようとしているのか、議論がまったくされていないのはどういうことなのか。

議 員 執行部ではないので、答えが出しづらいというのはある。

参加者 D 審議会の内容を知らない。

議 員 全部は存じ上げていないが、市長とか部長だったら…。

参加者 D 教育振興計画を今見直している。内容が不十分。なんとかしてほしいという要望。

議 員 学力についての言及がないということで。

参加者 D 議事録を見たところありませんねと市長への手紙を出したら9月に議論しましたと言って議事録をみたが、それも中身について議論されていない。もうちょっと学力向上についてちゃんと検証してほしい。なんで富士見市はこんなに低いのか、その課題は何か、どうすればよいかちゃんと考えてほしい。茨木市はそういうことを考えてPDCA サイクルを回して、PDCA サイクルは小回りで回さないとダメ。仮説を立ててやってみて、評価して、手直しして早いタイミングで回していかなくてはいけない。5か年計画では実態に合わない。

議 員 ご意見は、教育振興基本計画が今見直し中。学力向上に対して議事録に言及している部分が見られなかったので、学力向上こそ教育振興基本計画の大事な部分なのでもっと言及するように教育委員会にチェックをするべきと。

参加者 D 教育振興基本計画は、審議会から出て、議会で議論して承認するのか。議会は関係ないのか。12月にパブコメ募集が出るが。

議 員 議決だったかどうか。地域防災計画など議員が丸バツしない計画もある。お金の使い道について、もっとこういう風に使ったほうがいいのではないかと…。

参加者 D そうしたら要望としては、授業参観に参加したところ、算数の専門教員がいて、教え方が非常に上手でよい。一般的に小学校の先生は、文系の先生が多い。そうすると数学についての理解がなかったりする。専門教員を増員してほしい。

自分は会社で採用担当やっている。けっこうない大学出てきて、分数の足し算できない人がたくさんいる。

議 員 午前中もあったが、中学でも掛け算ができない子が意外と多いと。こっちもビックリした。

参加者 D 例えば、入社試験で偶数足す奇数は必ず奇数になる。このことを証明せよと言うと。早稲田の相当上の学部いかにわからない。ビックリする。

議 員 数字は出るが理論でとなるとああとになってしまうのか。

参加者 D 物事を数学的に捉えられる先生を小学校の方から入れてほしい。

議 員 先生によって、黒板にたくさん書いてやる先生がいたり、冗談言いながら漫画を描いたり、同じ教科でも、そうやって教えると全然違ってくる。先生の文系と理系とがあるのかもしれない。午前中は、少人数学級にしたら、学力が向上しているというデータもあるという報告があったり、いくら少なくしたって学力向上に比例するとは限らないという意見もあった。国は40人でやっている。

参加者 D 富士見市は結果的には少人数学級になっているから有効ではないということだからじゃあどうするのかという話。

議 員 ただ中にはちょうど1人入ってくれば30人学級になるのに、40人、39人とか、かわいそうになる。

参加者 D 取り組みに関して全国学力テストはどういう頻度でやっているのか。全国学

- カテストは毎年やっているのか。
- 議員 年1回やっている。1位が秋田、石川県とか。
- 参加者D 毎年やっているなかで、本市は全国平均、埼玉平均をずっと下回っている状況は続いているのか。ということは、現在までの5カ年の教育振興計画は〇〇なかったという評価か。
- 議員 数字で見てしまうと…。
- 議員 学力テストは全体としては、28年度に関しては下がっている。ただ、県の学力テストに関しては、県の中では、2種類あるので、全国学力テストと、あとは埼玉県学力テスト。全国のテストは小6と中3は全国平均を下回っているが、小学校4年、5年、6年、中1、中2、中3に関しては県の中ではだいぶ平均値が上がってきている。先生の教え方かもしれないが、上がっている部分もある。
- 参加者D 県の平均は越えたということか。
- 議員 越えている。中学生に関しては、小学生に関しては越えていない小学校もあるが、中学校は今現在はよくなっているような話を聞いている。
- 議員 特に私立は入っていない。公立だけ。だからひよっとすると秋田とか石川はなかなか私立が少ないから、その分、結局東京とか大阪とか大都市は何で少ないのだろうという。
- 参加者D 富士見市から私立の中学校に行く子はそんなにいないだろう。
- 議員 ふじみ野は多かった。
- 参加者D ふじみ野の子たちを混ぜれば学力上がるという話。
- 参加者B だったら小学校をもうちょっとよくすればいいのでは。中学校は私立に行くとしても、小学校も、全国も県も平均下回っているので、その仮説は成り立たない。私立の小学校はもっと数字少ないからそんな影響ない。実は関沢小の平成29年度の全国学力テスト結果報告をいただいて最新の結果を持っている。国語・知識というところだが、参考までに言うと全国平均が72.9から74.9に2ポイント上がっている。県の平均は71.5から71.6に上がっている。そうすると県としては何らかの形の取り組みをした、でも富士見市も、70.3から70.1。逆に差が開いている状況。どういうところが原因なのかを詰めていかないと、単に、テストをやりました、結果は全国を下回っている、じゃあどうするんだということだと思う。これと同じような調査の中で、学習状況の調査があるが、読書は好きか、全国平均で言うと74.3%の人が好きだと答えている。埼玉県は72.8、富士見市は71.9。あまり本を読むのが好きじゃないと国語の学力が上がっていかないというのが推察だが言えると思う。新聞を読んでいるかの問いは、少ない数字だが、全国平均21%、埼玉県19.2、富士見市17.2。子どもは活字に対する興味がない。学校支援者協議会があり、淑徳大学の教授が言われていたが、その方が小学校の校長だった時には、新聞記事を持ってきて、そこに自分の中で意見をまとめたりわからない言葉を調べたり、そういうことはやっていたと思うが、残念ながら今は子ども新聞はあっても、図書館で読みたい人はどうぞという状況になっている。それが興味の向上につながらない。いかに子どもたちの好奇心を育てて、向上心上げる何か経験をしていくのが、文教福祉常任委員会として提言をしてもらいたい。
- 議員 全国、都道府県で差が開いている。活字への興味なくなっているのが国語において学力低下、差が開いた原因になっている。
- 参加者B 結局文字を読まないから、考えることもしないし読み解く力も出てこない。そういうものを、算数の問題なんかでも、問題の文章の意図がわからないということにつながってくるのでは。

- 議 員 好奇心を高める取り組みを提案してみてもと。
- 議 員 それが基本。応用問題は読んでも意味がわからない。買い物して説明書があっても、理解できない子が意外と多い。今日も入口でゲームをやっている子どももいたが、目で感触で慣らされてしまっている。
- 参加者E 根本は日本語能力、言葉の能力の発達が大事で、これができれば他も上がる。勉強の科目は練習がいる科目と覚える科目がある。社会とか理科は覚えればよい。しかし国語は練習がいる。読んで理解して考えることである。言いたいことを考えなくてはいけない。考える事が重要だがそこが認識されていない。大学生になってお文章ろくに書けない人もいっぱいいる。小学校から言葉の教育がおろそかになっている。娘は今50歳だが、本を読むのが好き。自分が3分でわかることを先生は45分かけて説明していると話していた。まさしく国語の力の差。日本の教育制度そのものに対する意見だが。
- 参加者D おっしゃる通りで、中学の受験の問題はそう。文章を読み解く力がないと算数ができないようになっている。学受験の勉強という国語力をつけることが一番。
- 議 員 ご意見は、国語にもっと注力することで学力アップが図れるということで。
- 参加者C 確かにそういうことも必要だが、学校に行くことが楽しくないと学力は上がらない。楽しいことが大前提だと思う。そのために学校や地域がいかに協力するかだと思う。幼稚園・保育園と学校の連携ができていない。幼稚園や保育園で生活習慣を身につけてもらえればよい。そうすれば学校に来た時に先生が右往左往することなく、国語、算数などに熱を入れて取り組むことができるのにといつも思っている。給食をよそることができる、雑巾しぼることができる、お着替えできるとか、そんなことをきちんと話し合っ、やってもらうことが大切なのではないか。
- 参加者F 学力向上についての話が中心かと思ったらPTAの話が多かった。どういう理由で富士見市が今の位置にいるのか、100点を取る層が多いのか、一律70点の所に多いのか。茨木市は、一人も見捨てへん教育で、30点40点のところをあげようということ。その辺を富士見市はどうなんだと。今後、できる上の方を増やすのか、下を上げるのか分析が必要だ。志木は学力が高いと聞いている。上の方を増やしていけば下の方は引っ張られていく。友だち同士で教えればよい。
- 参加者D 志木は特区。
- 議 員 25人学級やっている。
- 参加者C 富士見市は二極化している。
- 議 員 茨木市でも今回3年というのが、低学力層の正答率が30%以下の子たちを中心に、学校ごとに差があるので、例えば支援員をA小学校には2人、B中学校には5人入れるとか見える化をして、差をつけて低位層を上げていこうという取り組み。ただそのことによって、低位層が頑張ると逆に引っ張られる、上も頑張ろうということで上がってきたという話もしていた。
- 参加者F 西中の生徒の平均点は市内でも県でも全国でも劣っている。学力向上についてというタイトルが面白そうでここに来たが、富士見市でも茨木市のような取り組みをやればよいと思う。色々なブロックが分かれていることで連携が取れないのであれば、町会では色んな町会と組んでやっている。100%できてはいないが。ただ行政の足りないところをやっているつもり。住民が連携できるように町会単位ではやっているつもり。保幼小中連携と書いてあるが、それも含めて町会だとかPTAや育成会を見える化してほしい。中学校、小学校の状況を見える化してほしい。西中の回覧を見て初めて子どもたちがこんな塩梅なんだとわかった。住民として非常に残念。学力向上の結果を真

撃に公表すべき。

参加者A 教育について市民の意見を聞く取り組みは初めてか。

議 員 議会報告会として委員会ごとにテーマを決めてやったのは今回初めて。

## 建設環境常任委員会「デマンド交通について」

◇参加者地域内訳

西みずほ台 2名 水谷東 1名 針ヶ谷 5名（一丁目 4名、二丁目 1名）

◇視察・当市の報告に対する質問

参加者 タクシー会社の利益が上がらない場合は撤退する可能性が強いのか

参加者 実証後に確実に再始動するのか

議 員 実証の結果次第となる

参加者 利用者から要望・意見の声を聞いているのか、実証実験をしながら改善していくような積極的な取り組みはあるのか

議 員 社会実験として統計データを取る目的

参加者 （バスなど）仮設のデマンド交通の構想はあるのか

議 員 市内循環バスなどのデータも持った上で会議に臨んでいる

参加者 利用カードを発行し、電話予約せずにデマンドタクシーを利用できるとよい

参加者 一万人の利用者を目標にしているとのことだが、現状についてどう思うか

議 員 ある一定の基準は満たしている

参加者 実証実験終了後に登録した個人情報はタクシー会社に残るのか

議 員 個人が特定されないような統計を取る予定

参加者 今日は意見交換会ということで皆さんの発言は意見の一つとして把握していきたい

参加者 実証実験後の再開は是非早い時期にお願いしたい

◇意見交換『富士見市に求める地域公共交通のあり方について』

参加者 西みずほ台はなぜバスが通らないのか。運転免許証返納者への対策を

参加者 水谷東は生活圏が志木にある。市民がどこに生活圏があるのかを把握し、富士見市にこだわらず交通環境を広げていくべき（近隣市外への病院への通院など）

参加者 高齢者が病院に行く場合、バス停までの距離を考えるとデマンドタクシーはいいと思う。また、税金の公平性を考えると病院のバス送迎などが増えると尚よい

参加者 自転車生活しているので、デマンド交通のこともこれから勉強していきたい

参加者 補助があるとはいえ高額であり、時間の制限なども考えると利用者の立場に寄り添った仕組みがあるとよい

参加者 利用者が希望する時間帯にバスがない

議 員 実証実験の結果によってバスについても議論

参加者 送迎料金があることであまりメリットがないのではないか

参加者 タクシー運転者の方の意識を変えるなどいろいろな施策を

参加者 複数の利用方法があるとよいのではないかと。利用したいと思える利便性がほしい

参加者 乗降場にスイミングスクールを希望

参加者 広がりすぎないようにデマンド交通の目的を絞って活用できるようにしてほしい

参加者 あくまでも循環バスの補完として、多様な交通手段の確保ができるといい

## 6. 意見交換の報告 各常任委員会委員長

### 7. 議会全体に対する質疑応答

#### \* 質疑内容

- 参加者 西みずほ台。ムクドリのおい、また伐採もされていないため毛虫もひどい。夜はムクドリの鳴き声がひどく睡眠不足になる人もいる。なんとかならないか。また、合わせて、電線の地中化はできないだろうか。
- 議員 電線地中化とムクドリについては貴重なご意見として承る。毛虫に関しては対策済み。
- 参加者 路上喫煙がひどくなっていて、3駅の東西6カ所にきちんと喫煙所を作ってやるべきではないか。たばこ税の収入も市にあるわけだから、ぜひやってほしい。
- 議員 貴重なご意見として承る。
- 参加者 広報をもっと頑張ってもらいたいと思う。議会報告会では子育て世代が少ない。デマンド交通の広報は評価できる。頑張ってもらいたい。
- 議員 貴重なご意見として承る。
- 参加者 政務活動費について聞きたい。なぜこんなに毎年余るのか？活動してくれているのだろうか？と懸念を持つ。使い切るように、あるいは8割程度は使っていただきたい。
- 議員 貴重なご意見として承る。
- 参加者 政務活動費について関連だが、富士見市の政務活動費は低いのでは？と思って発言してきたが、余っているので困った。政務活動費が低いから活動できないのかももっとあれば活動できるのか、どちらなのか。検討していただきたい。
- 議員 議会としても検討させていただきたい。
- 参加者 9月の市議会一般質問で子どもの貧困についてきいていた。子どもの貧困への取り組みで、今年度が調査、来年度が準備、再来年が実行という答弁だった。子どもの貧困に対しては早急に取り組むべきではないか。
- 議員 貴重なご意見として承る。

## 8. 閉会挨拶 篠田 副議長